



2023年5月2日
株式会社 阿波銀行

社会福祉法人和修会の「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 福永丈久、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、社会福祉法人和修会（理事長 塚本 由美、本社：大阪府守口市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	社会福祉法人和修会
所在地	大阪府守口市寺方本通四丁目4番22号
代表者	塚本 由美
業種	社会保険福祉事業
設立	2002年3月18日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2023年5月2日



社会福祉法人和修会 理事長 塚本 由美

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
社会・経済	多様な人材活用	性別、国籍、年齢、人種、出身、宗教などによる差別の禁止を目的に、多様な人材が活躍できる環境の整備に努めます。	① 社内教育を通じた周知		
			② 各施設2024年度までに年間7回社内研修実施		
環境・経済	移動・輸送における環境配慮の推進	社有車、従業員の移動、製品の輸送などにおいて、より環境に配慮した手段を選択します。	① リモート会議の推進による、出張・営業訪問に伴うCO2排出量の削減		
			② 2024年度までに本部移動に伴う自動車利用回数を半減		
環境・社会	環境問題の認識・理解の推進	環境問題を自分事として取組むために、環境意識のさらなる向上に努めます。	① 従業員に対する、ポスター掲示やパンフレット配布等による普及・啓発		
			② 2024年度までに年7回実施		
社会	環境問題への取組みの公表	情報開示を進め、自社の環境影響に関する透明性を高めます。	① 省資源や廃棄物削減等に関する取組み内容と取組実績の情報開示		
			② 2024年度中に全施設でごみ分別収集100%実施(職員と児童と一緒に実施)		

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。